



いつまでも元気にいきいきと —専門医からのアドバイス—



第5回 市民健康フォーラム

—安全・安心な医療と専門医—

日時 平成25年11月19日(火) 13:00～17:00
会場 東京国際フォーラム ホールB5

第1部

基調講演

安全・安心な医療をめざして
—新たな専門医制度について—

第2部

シンポジウム

健康長寿のために
—専門医に聞く— “今、やること、出来ること”

当日は、パネリストの先生方へ
質問していただける時間を
設けております。

※質問時間に限りがございますので
ご了承ください。

【応募方法】①郵便番号・住所②氏名(フリガナ)③年齢④電話番号をご明記のうえ、郵便はがき、またはFAXにてご応募ください。なお、複数名での参加をご希望される場合は、⑤ご同伴者全員の氏名(フリガナ)・人数をご明記ください。先着500名様に「招待状」を送付いたします。定員になり次第、締め切らせていただきますのでご了承ください。

【応募先】 は が き 〒100-0005 東京都千代田区丸の内3-5-1 東京国際フォーラムD301
(社)日本専門医制評価・認定機構 市民健康フォーラム係
F A X 03-3201-3931

【締め切り】 平成25年11月11日(月)

【お問い合わせ】 (社)日本専門医制評価・認定機構 TEL 03-3201-3930 (10:00～17:00 土・日・祝日を除く)

※お寄せいただいた個人情報は、本フォーラムの「招待状」の送付以外には使用いたしません。

無料
ご招待

主催：社団法人 日本専門医制評価・認定機構 <http://www.japan-senmon-i.jp/>

後援：厚生労働省、東京都、日本医師会、日本医学会、東京国際フォーラム、読売新聞社、NHK、日本学会議

●(社)日本専門医制評価・認定機構では、加盟学会との連携を図り、社会に信頼される専門医制度の確立、専門医の育成・認定およびその生涯教育などを行うことを通じて、医療の質の向上をめざしています。



第5回 市民健康フォーラム —安全・安心な医療と専門医—

日時 平成25年11月19日(火) 13:00~17:00 会場 東京国際フォーラム ホールB5

日本専門医制評価・認定機構では、5年間以上の専門研修を受け、審査・専門医試験に合格し学会等で認定された医師を「専門医」と定義しています。安全・安心な医療をサポートするには、この専門医制度のさらなる充実が欠かせません。本フォーラムを機に、広く一般のみなさまのご理解とご協力を賜りたく存じます。

第1部 基調講演

安全・安心な医療をめざして —新たな専門医制度について—

患者さんの視点に立った専門医制度を確立することは、解決すべき多くの課題を抱えている我が国の医療にとって非常に重要です。医師がどのような知識・技量・倫理観そして経験を持って、それぞれの診療領域の専門医として認定されているのか。情報開示のもとに確立されるべき専門医制度の現状について、今後の展望とともにやさしく解説いたします。



池田 康夫
日本専門医制評価・認定機構 理事長
早稲田大学 教授
慶應義塾大学 名誉教授



高久 史磨
日本医学会 会長
東京大学 名誉教授
自治医科大学 名誉学長

第2部 シンポジウム

健康長寿のために —専門医に聞く— “今、やること、出来ること”

厚生労働省の調査によれば、2012年の日本人の平均寿命は、女性が86.41歳、男性が79.94歳で、女性は世界1位、男性は5位となっています。日常的に介護を必要とせず自立した生活ができる生存期間のことをいう「健康寿命」でも世界トップクラスです。いつまでも元気で、いきいきと過ごすためには、どうすればいいのか。今、何が出来るのか。各分野の専門医がわかりやすく解説いたします。



山口 徹
日本専門医制評価・認定機構 副理事長
虎の門病院 顧問



岩本 裕
日本専門医制評価・認定機構 理事
NHK放送文化研究所 世論調査部 副部長

総論

百寿者の健康管理



広瀬 信義
慶應義塾大学病院 老年内科 診療科部長

健康長寿の秘訣を知るために1992年より百寿者の方を調べています。医学的には虚弱にならないこと、性格的には前向きで生きることが元気で長生きのために大切です。現在注目している超百寿者(105歳以上の方)の特徴のご紹介、長寿遺伝子など今後の研究方向についてお話しします。最後に史上最長寿男性のビデオをご紹介します。

各論

1.

メタボリックシンドローム —ミトコンドリアを鍛えて健康長寿—



伊藤 裕
慶應義塾大学病院 腎臓内分沁代謝内科 教授

肥満、とくに内臓脂肪の蓄積で起こるメタボリックシンドロームは、糖尿病、高血圧、慢性腎臓病、脳卒中、心筋梗塞そして癌などたくさんの病気を引き起こし、我々の寿命を短くします。実は、メタボは臓器の細胞の中にあるミトコンドリアの疲れから起こってきます。「ミトコンドリアを鍛える」ことでメタボを克服し健康長寿をめざすお話をします。

2.

ロコモティブシンドローム —運動器症候群—



中村 耕三
国立障害者リハビリテーションセンター 総長

骨、関節、椎間板、筋肉、神経など運動器の障害によって、人の移動(歩行)が障害された状態がロコモティブシンドロームです。超高齢社会となりロコモ対策が健康寿命の延伸に重要です。運動器の機能低下に早く気づき、対処することが大切です。

3.

頻尿・尿意切迫症候群 —トイレが近いはこうして治す—



本間 之夫
東京大学 医学部附属病院 泌尿器科・男性科 教授

トイレが近い・我慢できない……こんな症状には、危険な病気が潜んでいることがあります。その心配はなくても、生活には不便です。旅行も十分に楽しめません。トイレのことを気にしないで済むようになるのは、長雨の上がった秋晴れの空を見上げるような気分です。

4.

高齢になっても 快適な視機能を保つ



井上 賢治
医療法人社団 済安堂 井上眼科病院 院長

目の病気の中には、加齢に伴って有病率が上昇する疾患がたくさんあります。それらの代表的な疾患として白内障、緑内障、加齢黄斑変性あげられます。これらの疾患についてと目の病気の早期発見、早期治療の大切さについてわかりやすくお話しします。

質疑応答・シンポジウムまとめ

日本専門医制評価・認定機構 主催「第5回 市民健康フォーラム」 会場：東京国際フォーラムホールB5 (東京都千代田区丸の内3-5-1)

FAX申込書

必要事項をご記入のうえ、切り離さず、そのままFAXにてお送りください。
※複数名様でご応募の場合は、代表者の方のお名前・ご連絡先およびご同伴者全員のお名前・人数をご記入ください。

〒
ご住所

電話番号 ()

フリガナ
お名前

年齢 歳

フリガナ
ご同伴者名

人数 名様

FAX 03-3201-3931 【締め切り】平成25年11月11日(月)